

# 献 呈 の 辞

新潟大学法学会会長

沢 田 克 己

この度、石崎誠也先生は2018年3月末をもって御定年を迎えられ、本学を退職されます。

新潟大学法学会会員一同、石崎先生のこれまでの長年のご貢献に感謝し、ご業績を讃えて、ここに「法政理論」の記念号を献呈させていただきます。

石崎先生は、東京都立大学法学部をご卒業の後、同大学大学院社会科学研究科博士課程を経て、1983年4月より新潟大学教養部に講師として赴任されました。その3年余後に同助教授、さらに1993年3月に教授に昇任されました。その翌1994年に新潟大学法学部に配置されました。2004年4月に大学院実務法学研究科（法科大学院）が設立されると同時に、同大学院を担当されました。2017年4月からは、再び法学部をご担当です。

石崎先生は法学部および大学院実務法学研究科において、主に行政法の講義・演習をご担当になり、多くの法曹をはじめとして有能な人材を社会に輩出されてきました。とくに、多方面の公共機関の多くの公務員を育成されました。現在、新潟大学法学部の卒業生の4割が国家公務員または地方公務員として活躍していることは、石崎先生の手厚いご教育、ご指導の賜物です。法学部の学生はもちろん、新潟大学法学部は石崎先生のご貢献に厚く感謝いたしております。

石崎先生の研究業績は著書（共著）12冊、論文36編にのぼる他、行政判例百選をはじめ多くの解説・翻訳・辞典等があります。その内容はわが国の行政法、憲法のみならず、外国法、とくにドイツ法を広く捉えるテーマであり、刮目すべきご業績です。

多忙な学術研究生生活を過ごされる中、石崎先生は学内行政にも尽力されました。とくに、2010年2月から4年間、大学院実務法学研究科研究科長を務められました。独特のユーモアを交えながら研究科をまとめていくご姿勢からは、周囲を和ませながら協力態勢を形成していくお人柄を垣間見ることができました。

また学外においても、新潟県情報公開審査委員会委員、同・個人情報保護審査会委員、大学基準協会法科大学院認証評価審査環境委員会委員、司法試験考査委員、長岡市行政不服審査会委員、三条市行政不服審査会委員など、ここでは列挙しきれない多数の学外委員を歴任され、地域に多大なご貢献をなさいました。2014年度・2015年度において、本会の会長もご担当くださいました。

本年3月にご定年にてご退職されるにあたり、これまでの新潟大学全体、とくに新潟大学法学部および大学院実務法学研究科、ならびに多くの学生、社会への多大のご貢献に心から感謝申し上げるとともに、今後も御身大切になされ、いつまでもお元気で活躍されることをお祈り申し上げます。

2018年3月吉日